

負担軽減計画

当院は、病院勤務医および看護師、医療従事者の負担軽減を図るため、次のとおり負担軽減策を策定・実施しています。

【病院勤務医の負担軽減計画】

1. 地域連携室・入退院支援室の設置
2. 連続当直を行わない勤務体制の実施・予定手術前日の当直等への配慮および当直翌日の業務に対する配慮
3. 勤務間インターバルの確保
4. 交代勤務制・複数主治医制の導入を含む主治医制の見直し
5. 短時間正規雇用職員
6. 多職種による役割分担の実施
 - (1) 看護部による負担軽減計画
 - ・初診時の予診の実施、各種検査の説明、静脈採血等の実施、看護専門外来の継続および各専門チームによる治療方針や患者管理への活用、その他
 - (2) 薬剤部による負担軽減計画
 - ・処方提案や服薬説明、薬剤に関する患者指導、持参薬に関する提案、がん化学療法に関する対応、治験補助、その他
 - (3) 技術部による負担軽減計画
 - ・技術部各職種による検査の実施や説明および検査オーダーの入力・修正、照会用メディアの作成、その他
 - (4) 事務部による負担軽減計画
 - ・医師事務作業補助者を配置し、医師の指示のもと診断書等文書作成補助や診療記録の代行入力、医療秘書業務等の実施
 - ・医事課における外来患者の受付や入院案内等の実施

【看護師の負担軽減計画】

1. 短時間正規雇用職員の看護職員の活用および多様な勤務形態の導入
2. 看護補助者の配置
3. 時間外労働が極力発生しないような業務量の調整
4. 多職種との業務分担の実施
 - 薬剤師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士等専門家が患者に関わる事により入院までにハイリスク患者のスクリーニングを実施、介護福祉士の活用
5. 妊娠・子育て中および介護中の職員に対する配慮・夜勤負担の軽減
 - (1) 病院保育所の設置
 - (2) 夜勤の減免および夜勤従事者の増員、月当たりの夜勤回数の上限設定
 - (3) 休日勤務の制限
 - (4) 半日・時間単位休暇制度
 - (5) 所定労働時間の短縮
 - (6) 他部署への配置転換

【医療従事者の負担軽減計画】

1. 外来縮小の取組

- (1) 積極的な紹介、逆紹介により外来患者数の適正化を推進
- (2) 外来患者数の平準化のため、医師毎の外来患者数の多寡の確認と再配分の推進

2. 院内保育所の設置

院内保育所の設置および病児保育を実施

3. 医師事務作業補助者の配置

医師事務作業補助者を配置し医師の事務作業の負担軽減を実施

4. 特定行為研修修了者の複数配置および活用による医師の負担軽減

特定行為研修修了者 6 名が活躍することにより医師の負担軽減を実施

5. 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減

- (1) 看護補助者を配置し業務分担と協働、業務拡大により看護職員の負担軽減を実施
- (2) 急性期病棟を中心に夜間の看護補助者の配置を実施

※配茶・配膳・下膳・洗面介助・患者搬送・物品搬送などを行い、看護師は夜間帯の患者の観察・処置・記録・面談に専念できる体制を整えている。

6. 超過労働時間数および有給休暇取得率の管理、育児休業・介護休業取得率の確認

- (1) 全職員の超過労働時間数および有給休暇取得率を確認、評価・分析による業務量の適正化の推進
- (2) 育児休業・介護休業取得率の確認